

オージーに代わって スキー場に大挙して 訪れる中国人たち！

5

年ほど前から日本のスキー場でバカンスを楽しむのがブームとなつたオーストラリア人。北海道ニセコでは豪企業による別荘やホテルの建設ラッシュに沸いたが、昨シーズンは不況や円高の影響で訪れる外国人スキーライターが激減。今シーズンは「オージー復活の兆し」を見せ始めているものの、かつての勢いはない。そんななか、彼らに代わりスキー場を占拠する外国人の一团が現れた。それが中国人スキー客たちだ。

「昨年あたりから中国人ツアーリングだけでなく、中国語や英語、ハングルでも表記された山形県・蔵王温泉スキー場の案内板。外国人利用者の増加に伴い、ほかのスキー場でもこうした整備が進んでる

客を乗せた大型バスが連日何台も来るようになりました。しかも、ウチのゲレンデに来るのは初心者ばかり。ボーゲンで滑降しているのはほとんど中国人です（笑）」（ニセコのスキー場スタッフ）

「中国人の場合、スキー場の雰囲気を味わうだけで2~3時間しか滞在しないツアーモード。そのため、スキーをしないでソリやスノーシューでの雪中歩行など簡単な雪遊びをして帰る人も多い」（札幌近郊のスキー場スタッフ）

こうした中国人スキーライターを見られるようになったのは、ここ1~2年のこと。では、そもそもスキー場を訪れる中国人が増えたのはなぜなのだろうか？

「中国の景気が良いというのもあります。実は中国では空前のスキーブーム。富裕層にとってスキーをするのがステータスになつているんです。それにオシャレでカッコいいというイメージもあり、若者からは「スキーをすると、女性にモテる」と言われています」

そう語るのは、日本向けスキー場の代表、張興明氏。中国ではこれまで1000か所以上のスキー場がオープンし、北京や上海には

安ツアーや増え、日本へのスキーファーを取り扱う上海の旅行代理店の代表、張興明氏。中国ではこれまで5年で1000か所以上のスキー場がオープンし、北京や上海には



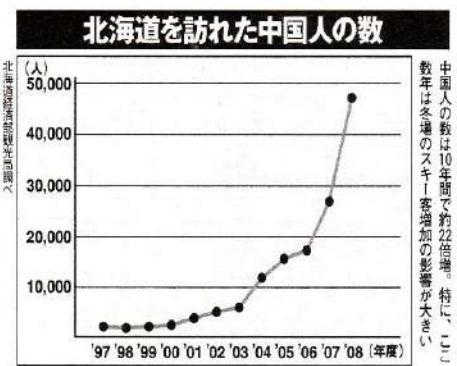
ニセコ、軽井沢、苗場……。国内のスキー人気急低下を尻目に「救世主」軍団がゲレンデを占拠した

中国人観光客が スキー場で大暴れ！

オーストラリア人が北海道ニセコをはじめとする国内のスキー場に大挙して訪れ、低迷するスキー場経営の“救世主”と話題になってから5年。その主役の座はオージーから中国人に代わりつつあるという。ツアーライターとして団体で訪れる、日本有数のスキー場を占拠する中国人観光客。その中国人バブルに沸く日本のゲレンデ最新事情をリポートする！



人気に拍車をかけているという。
「韓国や東南アジアのツアーより
は高いが、富裕層にとっては手頃
な金額。そのため、何度も日本を
訪れるリピーターも増えているん
です」(同)



「中国人の数は10年間で約22倍増。特に、「ここ」
数年は冬場のスキーライターも増えてるん
です」(同)

本を訪れる中国人スキーキー客の間でとりわけ人気な
のが北海道。10年前は一年でわずか2100人だった来道者
数が'08年度には4万7400人と20
倍以上に増えている。

その理由に道内のスキーライターが
や観光協会の担当者などが口を揃え
て挙げるのが、「08年末に中国で公開
された恋愛映画『非誠勿擾』。同作
品は物語の後半が阿寒や知床など道
東が舞台で、北海道の美しい映像が
中国人の間で話題となつて大ヒット。
これを機に映画のロケ地を巡るツア

スキー場以外にも殺到! 北海道を占拠する中国人

東京を拠点に群馬や長野、新潟など近郊のスキーライターに行くケースと、直接北海道など現地に入ってしまう2パターンに分かれ。いずれもスキーライターとは異なる。

とはいっても、同じ中国人ツアーキー客で固まっているわけではなく、地元の日本人や他のスキーライターと交流する姿も頻繁に目撃されている。

ちなみに中国人スキーライターの場合、東京を拠点に群馬や長野、新潟など近郊のスキーライターに行くケースと、直接北海道など現地に入ってしまう2パターンに分かれ。いずれもスキーライターとは異なる。

とはいっても、同じ中国人ツアーキー客で固まっているわけではなく、地元の日本人や他のスキーライターと交流する姿も頻繁に目撃されている。

09年、諸外国から日本を訪れる観光客が軒並み減少しているなか、中国人だけが前年比0・6%増の100万6000人を記録。この背景には中国人のスキーブームもあるという。

ちなみに中国人スキーライターの場合、裕層だけあって英語も堪能ですし、コミュニケーションの取り方も上手。そのうえ1回の飲み代はオーナーよりも、1か所に定住するバカンス型のオーナーとは異なる。

とはいっても、同じ中国人ツアーキー客が多いから店としてはありがたい存在です」(二七コの居酒屋経営者)

不況にあえぎ閉鎖するスキーライター場が続出するなか、中国人スキーライターはまさに「救世主」。スキーライター側も中国人のために中国語で書かれ

可能性もあります」

激減する国内のスキーライター人口を考えれば、中国人スキーライターの増加はありがたい話なのだが、「スキーライターの対応はまだまだ不十分。あまりに急に増えた中国人スキーライターに十分な対応が取れていない」(鈴木氏)という問題点もある。

今回、話を聞いた数人の中国人スキーライターからも「中国語ではまったく通じず、英語を使ったがそれでも言葉を理解できないスタッフが多い」といった声が聞かれた。

また、スキーライター場から「中國語の注意書きの看板を出している



ゲレンデに来てもスキーやスノボはせず、ソーラー遊びやスノーモービルなどほかのアクティビティを楽しむ中国人旅行者も少なくない

た案内板やゲレンデマップ、レストランメニューを用意したり、中国語のできるインストラクターを揃えるなどサービスの充実を図る

スキーライター場が後を絶たない。

旭山動物園や函館の朝市、札幌テレビ塔など道内の主要観光スポットはどこも中国人だらけなのだ。3月下旬には中国から新千歳空港への乗り入れ制限が緩和され、現在就航している北京、上海、大連の週7便から増便される予定。北海道に押し寄せる中国人の数は、今後も増え続けそうだ。

「昨年7月から始まった個人旅行ビザ取得の所得制限(年収25万元以上)はクレジットカード所有の確認などでOKになるなど緩和する方向で検討しており、ビザ発給の対象地域も現在の北京、上海、廣東省在住以外の住民にも開放されるのは時間の問題。そうなれば、日本中のスキーライターが中国人スキーライターの新たな救世主となるのか。

これが日本人に人気なのと同じ。こういう映画やドラマの影響ってなかなか侮れません(前出・鈴木氏)。すでに中国での公開から1年以上が経ったが、撮影時と違つて夏冬だがロケ地ツアーカーは相変わらず盛況。ま

鈴木勝氏



部屋は「狙った恋の落とし方」。映画のロケ地ツアーカーが人気を集めているという

た。旭山動物園や函館の朝市、札幌テレビ塔など道内の主要観光スポットはどこも中国人だらけなのだ。3月下旬には中国から新千歳空港への乗り入れ制限が緩和され、現在就航している北京、上海、大連の週7便から増便される予定。北海道に押し寄せる中国人の数は、今後も増え続けそうだ。

「今後も中国人スキーライター客が増えるのは確実」と指摘するのは、観光マーケティング論に詳しい桜美林大学教授の鈴木勝氏だ。

「昨年7月から始まった個人旅行ビザ取得の所得制限(年収25万元以上)はクレジットカード所有の確認などでOKになるなど緩和す

る方向で検討しており、ビザ発給の対象地域も現在の北京、上海、廣東省在住以外の住民にも開放さ

れるのは時間の問題。そうなれば、日本中のスキーライターが中国人で溢れ返ることも予想されます。5年後には年間来訪者が今の5倍になる